

会 議 録 (概 要)

会議の名称	平成17年度長岡京市地域健康福祉推進委員会児童福祉部会
開催日時	平成18年2月14日(火) 午後1時30分開会～午後4時00分閉会
開催場所	長岡京市役所 4階 大会議室A
部会長	安藤和彦委員
出席者	安藤和彦委員、小川史顕委員、森脇キヨノ委員、室園芳宏委員、 工藤充子委員、田村俊次委員、大久保敏夫委員、澤田石一之委員、 三代潤子委員、岡崎進委員、安藤ルリ子委員 (以上11名)
欠席者	大橋安浩委員、和田正恵委員、三田喜義委員、富岡友美委員、 小山雅美委員、川畑隆委員
議題(案件)	(1)あいさつ (2)長岡京市児童育成計画事業報告について (3)長岡京市次世代育成支援行動計画の進行管理について (4)その他
配布資料	(1)長岡京市児童育成計画(健やか子どもプラン)事業報告書 (2)長岡京市次世代育成支援行動計画(新・健やか子どもプラン)概要版 (3)長岡京市次世代育成支援行動計画特定14目標事業量の進捗について (4)気をつけてくださいこどものSOS(児童虐待防止啓発パンフレット)・・・未定稿 (5)長岡京市子育てタウンガイド・・・未定稿
議 事 の 経 過	
発言者	意見要旨
司会	(開会) 1)あいさつ ・只今より議事に入ります。ここからの進行は部会長にお願いします。
部会長	・あいさつ

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認
	2) 長岡京市児童育成計画事業報告について
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局よりご説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料長岡京市児童育成計画（健やか子どもプラン）事業報告書プロジェクターを使って平成12～16年度の事業報告（資料1）
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・只今の事業報告に関して質問があれば発言願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の子育て支援情報についてどのくらいのアクセスがあるのか。又、色々な情報をまとめて発信しているものがあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在情報をまとめて発信しているものは無く、今後、欲しい情報がいつでも受けられるような情報のとりまとめの整備を検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告にある子育て支援事業に係る予算が市全体の予算に対してどの程度を占めているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度における本市の一般会計歳出予算額は、269億円であり、事業報告書の最下段の額と比較することになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児は総て訪問しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・原則すべての新生児が訪問対象で、生後1～2ヶ月以内に各戸に訪問している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの新生児訪問の平成15、16年度の予算・決算状況が空白になっているのはどうしてか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12～14年度はアルバイト等を雇用して事業に取り組んでいたが、平成15年度以降は正規職員で行っているので予算・決算額が、0となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の充実ということで小学校区に1つの施設整備を目指していくとなっているが、どのようになっているのか。

事務局	・現在の児童館と児童福祉法に基づく児童館との位置付けが異なっており、今後の児童館のありようについて、現在、児童館運営委員会で検討している。
委員	・児童館は1つで800～900万円の予算であるが各校区に1つになると10倍になるのか。
事務局	・現在のところ各校区に1つにするかどうか決定されたものはない。
委員	・現在の児童館利用について、市域全体に拡大していないのか。
事務局	・利用は地域外の児童も現実的には利用されているが、現在は、教育部門での児童館管理・運営であるが、民生部門サイドの児童館になるような場合については、今後のあるべき児童館の姿を決めていく必要があると考えている。
委員	・子どもたちの居場所としての1つの場としての児童館を考えている。
委員	・17～20ページの障害児の相談で相談員が困難の理由は何か。
事務局	・人力的な確保ができない。発育・発達が気になる児童は発達相談を勧めて、場合によってはより専門の機関に繋げている。疑いも含めて障害児が増加しており、情緒、心理面での相談を行っている。
委員	・専門員でなくて保健師等が訪問して事前チェックをかけて行くことも必要ではないか。色々な場所での確認が必要ではないか。
事務局	・3歳6か月健診が最後であるが訪問の必要な場合は電話や訪問を行っているのが現状である。平成18年度は発達相談の事業に当事者のグループによる相談を行うことを考えている。
委員	・事業費と人件費の関係を分かりやすい資料としてもらいたい。
事務局	・1人の職員が複数の業務を担当しており人件費をどのように按分するのか難しい面がある。市全体の課題として今後の資料作りに努めて行きたい。
3) 長岡京市次世代育成支援行動計画の進行管理について	

部会長	・事務局よりご説明願いたい。
事務局	・(資料2)説明
委員	・格差のない社会ということで市として公的な役割をどのように考え取り組んでいくのか。
事務局	・公平な負担になるように様々な施策事業を行うことを検討する必要があると考えている。しかし、市の財政事情や他の様々な事業を突合せながらよりよい施策の事業展開をしていきたい。様々な事業の連携も図りながら事業の取り組みを行っていききたいと考えている。
委員	・選択肢が多くあるのは良い事である。今後もよろしく願いたい。駅前保育所の推移についても報告願いたい。
事務局	・当初心配していた0、1、2歳が約20名入所している。 ・多様な保育サービスの一つとして障害児保育があるが、児童増に伴って多くの加配保育士が必要となっている。
委員	・21年度の子育て支援センターの目標事業量が2となっているが、各中学校区に一つずつなのか。 ・ショートステイ等の事業については、最近の虐待問題から考えると非常に重要となるのではないかと。
事務局	・類似事業としての地域子育て支援センターを合せて、各中学校区に一つずつと考えている。 ・ショートステイ等の事業については、重要であると認識している。しかし、児童受け入れ施設の調整等で難しい問題があり、今後の課題と考えている。
委員	・小児科の医師が不足している。医師会に持ち帰って尋ねてみたい。
委員	・留守家庭児童会の目標事業量の単位が定員ではなく人になっている。目標事業量が707人に増加するのに対して施設の数と同じである。児童の安全面等のことを考えると何らかの対応が必要ではないかと。
事務局	・新規開設は考えていないが、学校によってバランスが悪いので、そのことを考慮しながら施設改修を行っていききたい。
委員	・児童の安全を忘れないで対応していただきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を委託方式で行うやり方や地域の力を活用して取り組む方法も必要と考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日診療については、近隣市の関係機関と連携、調整して利用できるように委託等してもらえないか検討して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全をどのように守っていくのか。ファミリーサポートセンターの利用等、事業と事業の連携ができるのではないかな。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターは非常に利用が増えている。毎日のことになると保護者の負担となる。色々な情報を提供して保護者が安心して様々な事業を利用できるように配慮していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の定員の表記のしかたについて、定員なのか人数なのか、もっと分かりやすい表記に努めて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用児童数である。今後、配慮していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画について、地域は地域としてまとめることが必要ではないか。子ども110番の家等の取り組みが進んでいるので、このような取り組みを計画の中に入れてはどうか。自治会の協力を得て、地域の安全を図っていくことも必要ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全、次世代育成の観点から子どもを見守る立場の大人間のバトンタッチがうまくいかない状況がある。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画にもあるとおり地域育ちの観点が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に特定14事業が掲げられているが、60歳代パワーをどのように活用していくか。住民共同の取り組み体制を考えていく必要を感じる。地域子育てサークルにどのようにスポットを当てて活用していくのか期待したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度新規事業として「子育て情報コーナー」の設置を考えている。これらを利用して子育てサークルと連携を図っていきたい。 <p>4) その他</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から何かありましたら説明願います。

事務局	・本日、お配りしている配布資料の「気づいてくださいこどものSOS」及び「子育てタウンガイド」についてお気付きの点があれば事務局まで御意見をいただきたい。
部会長	・本日は、活発な御意見をいただきありがとうございました。 (閉会)